

矢野大和新聞

友人の会3300人の会
現在450名突破



第 6 号
平成26年2月1日
発行: 矢野大和事務所
発行責任者: 矢野大和



皆さん、明けましておめでとござ
います。今年もよろしくお願
いします。皆さんとの縁を大事にしなが
ら、今年も頑張つてまいります。年頭
に目標を立てました。人間は負荷を
かけないと成長がないうらしくて、
それで新年には毎回目標を立てるの
です。その目標を達成した時に幸
福感。いくつになっても、幸福
感を味わいたいですよね。
**1、今年も、400回の口演を
目指す**
ありがたい事に、昨年末に受けて
いた今年の依頼数が、100回を超
えていたのでこれを1年間キープす
ることを考えます。4月以降の依
頼がとて

安です。そのためには、公務員時代
に訪れた、会場に営業をかけること。
何年もの間に疎遠になつてい
るところが沢山あります。例えば、
静岡銀行さん、北海道道庁さん、
大山崎町さん、香住町さん、奥州
市さん、などです。とにかくご縁の
あつた所に、お便りをするとい
うことです。大事なことだと考
えてます。皆さん、悪く思わ
ないで笑つて受け流してくれ
たら幸いです。皆さんもついでに
呼んで下さいませ。私の事務所の
HPに日程が出ていますからつ
いでに、「大阪まで来てい
るなら、神戸に、和歌山に」と
言つた具合です。HPは是非読
んでください。そんなに、お礼は
要りません、多くの人に会
えるのが財産ですから。
2、嘶のマンネリ化の脱却
大分トヨタの社長、渡邊氏が本
当によくしてもらい、8年連続
口演を頂きました。迷惑を
かけています。理由はマンネ
リ化した嘶だからです。これを
脱却するにはどうしたらよいか
が、今年一年の目標です。原
点に帰れ、です。いま押入れ
から学生時代に集めた落語の
テープを取り出し、聞きな
おして下さい。約2000席は
あると思います。全部聞くには
大変ですが、古典に答えは
有ると思つています。4月ま
でには、

少し変わった、話にしたいと思
つてます。
**3、県南落語組合の30周年
記念の年を迎えて**
落語好きの素人の会が、30周
年を迎えることは本当にありが
たい事です。発表会を2回、出
張寄席を100回近く。プ
ロを呼んでの落語会の開催と、
活動内容は今年も変わりませ
んが、記念誌の発行を行いた
いと思つています。仲間18
名、それぞれが人生で知り合
つた証(記念誌)を作つても良
いのではないかと編集実行委
員会を立ち上げています。昨
年は、「県南落語のメンバーと
」話し方教室の卒業生の会
の「コラボも致しましたが、折
に触れ今年もやってみたいと思
つています。1月10日の教室
には、品矢君が落語を披露し
てくれました。
4、神事について
神事は家業です、真摯に受け
止め、奉職したいと思つて
います。ありがたい事に昨年
息子が帰ってきました、娘も
出来たので彼等にも手伝つて
もらつて、行いたいと思
います。今までも手伝いた
いでいる、鍵取りさんにも
変わらぬご支援を頂きたく
お願い申し上げます。昨年
は佐賀県神社庁や長崎県
神社庁からの口演依頼を受け
まし



た、他の神社庁からの依頼も受
けて、神道の口演も出来るのだ
と言つて見せたいものです。合
わせて日本人の誇りを取り戻
したいそんな口演にしたい
ものです。
5、その他
ケーブルテレビ佐伯の出演や、
月刊誌セーノの原稿書き、各
研修会への参加、自主発表会
等々、出来だけ忙しい年間に
したいと思つています。そし
て何よりの目標は月に一度は
東京に行くことです。どんな
田舎にいても、東京は訳な
く行ける、その感覚をもち
ば「十分大分でもやつてい
ける」が落語家の夢を捨て、
私のお宮を継いだ原点だつ
たので、今年もそうします。
1か月前に計画を立てれば、
飛行機代2万円で行く復が
出来るのですから、本当に
格安航空券はありがたい事
です。

ベスト5

昨年の活動の中で、の出来事ベスト5を発表します。

5位 8月に新たに本とCDが発売。

本は、家の光出版社から出版（担当者は堀内さん）、CDはビデオアーツミュージックが製作（担当者は前田さん）。私のような者の作品が、売れば印税が貰える会社とお付き合いが出来ることに、ただただ感謝です。皆さんのお蔭で、なんと売れてます。（口演の後の衝動買いに頼ってます）（笑）本の、もっと笑って元気、では（県南落語組合）や〈話し方教室〉のことも書きました。ありがたい事です。CDは、過去自主製作の「ピーマンのゆくえ」と「たか君の通学路」の改訂版として製作しました。いずれも1万枚目指します。しかも過去の分を合わせて3枚組の〈矢野大和、笑いの詰め合わせ〉まで作ってくれました。パッケージがすごく良くて、中には、大分の宣伝になるよう配慮をして頂いてます。

4位 話し方教室卒業生の会、初めての研修会。

大分合同新聞文化教室、人の心をつかむ話し方教室の卒業生の会はお蔭で、50名近い人数になりました。自分たちの発表会に加えて、すぐれた話術の研修会をといて意味で、講師を招いて9月に開催しました。当日は100名のお客様、第4期の委員長の佐藤さん始め多くの役員が人を集めてくれて、大盛況でした。卒業生のメンバーの心を

鷲掴みにした、講師、三浦清一郎先生（西日本生涯学習実践交流会主宰）には3時間の熱演をしていただきまし、その後の懇親会でファン続出です。今年も、落語家の三遊亭歌奴師匠を3月に計画しています。今後の候補には、京都の小島先生、山口の中原先生、赤田先生、福岡の田中先生、恩師の福岡先生の方々。招聘し紹介したい先生たちはあまりにも多すぎて限りなしです。



3位 CTS(ケーブルテレビ佐伯) 地元の放送局で番組を持つことに

親友、宮明君（県南落語組合発起人の紹介で11月から15分の「矢野大和の笑って元気」を持つことになりました。2週間に1本の録画です。はつきり言って、暗中模索の手探り状態ですが、新年になり充実をさせようと思っております。まず、相手の汐月さんとの入念な打ち合わせ、笑い噺の工夫、写真の工夫、文脈の工夫、等々問題は山積みです、会社の古川常務や安達部長の英断に迷惑をかけないようしないと申し訳が立ちません。チャンスを与えて頂いた事に感謝です。

2位 大きな祭典(神幸祭)が同日開催

催して、大きな観光資源に

昨年は、全般的に、口演優先のため神事があるそかになりました。氏子の方に本当に迷惑をかけています。謙虚に反省をしなければなりません。私の補助をして頂ける、矢野鍵取りさん、野田総代長さん、河野総代長さん方には本当によくして頂き感謝にたえませんが、申し訳ないですが、宮司は、今後のお宮を良くするための修行をしていると思つて、もうしばらく外でのネットワーク作りにご協力ください。宇目町に2つ在った、椿原祭典と八匹原祭典（いずれも御神輿がでる神幸祭）を同日に同場所9月に開催。商工会青年部や区長会、特に役場の田原局長や吉良係長、皆さんのおかげで開催出来ました。当日は小雨にもかかわらず、過去最大の参拝客でにぎわいました。今後ともよろしく願ひします。

1位 何とんでも息子の卒業、大分に帰郷、しかも神職の免許取得

倅が、神職の免許を取得して、私に代わつて神事をしてもらえることが一番の出来事です。東京都庁の就職を断つて、大分県庁に務めてくれてます。ただただ感謝です。「猪瀬知事に尽くすなら、広瀬知事に尽くせ」今となつては私の名言となりました。月に2日以内は神事を手伝つてもらえるという事で、宇目町に帰り神に奉職しています。感謝している親ばかりお許しく下さい。彼は神楽が好きなので、神事の時に舞つてもらおうかなとも考えています。私の母親が「跡継ぎが出来た」とお喜び。私の人生の最大の親孝行が出来ました。神様のお蔭です。

親友吉良さんとの対談



大きな仕事の一つに、前外務副大臣であつた吉良州司さんとの対談を行ったことがある。私の親友であり、私の人生を大きく変えた一人でもある。もちろん、良い方に人生を変えた人。彼の考え方と私の考え方は本当によく似ている。はつきり言って、与党の時から今の民主ではダメだと思つ時が多かつた。彼が民主党に入ったのは古い体質の自民党が嫌いなので、考え方は自民に近いところがいっぱいある。私も、彼も完全に保守の考えだ。対談では、吉良さんの生い立ち、東大時代、日商岩井時代、政治家を志した理由、今後の日本のあり方などを親しく対談させていただいた、楽しい対談だった。せつかくだからCDにしようということになり、80分のCDにしました。本当に面白く出来あがつていて、笑いが多くて、吉良さんのお人柄もたくさん出ています。1枚1000円で売っています。是非買って聞いてみて下さい。

もう二年たった笑いツアー



昨年1月に「初笑い県南落語組合と寿司と神楽」を組み合わせた佐伯1泊ツアーを行った。大成功だっただけに、今年もという問いあわせがある。営業は私の口演の時にチラシを配って、一人一人を一本釣りして参加者を増やし、山口、福岡、遠く島根からも参加者が増え、会場となった佐伯市金水苑ホテルは貸し切り状態となった。一番受けたのは我らの県南落語ではなくて、宇目神楽の舞であった。太鼓、鐘、笛の音色に合わせて若者が舞う様は圧巻で、多くの女性（おばちゃん達）がまるでスマツプのコンサートを見るように食い入って見ていた。これだけでも観光資源になると思った。このツアーは企画してよかったです。少しは佐伯のためになったと思う。今後は、佐伯市観光協会とタイアップしながら第2弾、第3弾を計画したいと思います。一番ありがたいことは、口演の時にチラシをまくと、必ずその会場の誰かが行ってくれるということです。今年も県南落語組合の30周年です。何か一つ笑いのツアーを行ってみたいものです。

正月早々のビックニュース

昨年、思い切って1パック3本入りのCDを作るようにしました。信じられないかもしれませんが、売れるのです。お正月早々にびっくりする所から3パックCDの注文依頼が来た。北海道の中央に位置する、愛別町の役場からでした。どうしてでしょうか？今から10年前前に私と小平町長が北海道の旭川市に呼ばれた時に「それでは、うちも」とおじやませせていたのだいて、口演をさせてもらった所なのです。その時の私のことを覚えていただいているなんて、とてもありがたいことです。本当に感謝です。CDを聴いていただけたら逆に呼んでくれるかどうか不安ですが、10年前と今とはかなりネタも変わって来ていると思います。ギャラはあまり要りません。交通費だけでも良いですから、良かったら呼んでみてください。会えるのが楽しみです。



青森の駒井さん大分に来る



私のことを東北に紹介してくれた方は約5名いらっしゃいます。今後少しずつ紹介をさせていただこうと思っております。まずそのひとり、青森県黒石市の教育委員会生涯学習課の駒井昭雄課長さんです。東京の口演会で知り合っていて、私のような者にまでいまだ本当によく係わってくれます。心から感謝です。いつそやは岩手県軽米町まで営業をしてくれたのだから、感謝にたえません。今後ともよろしくお願いします。昨年3日間、黒石市と弘前市で口演をさせていただぎました。同行した前田さんにもよく対応していただいて2泊3日の旅を十分に楽しめました。この駒井さんが大分にやって来たのです。日田でインターハイがある、その応援に、フエンシングの関係で、なんと駒井さんは青森県フエンシング協会の役員さんでした。この大分県との対応を私の事務所の岡嶋にしてもらいました。駒井さん、喜んでくれたか心配です。いやきつと喜んでる筈。今年も東北ツアーを考えてくださいませ。

ブログに書けないことだけの話

昨年の頂いた一番のネタは、一年をとつても教養。年をとつても教育。」という話。年寄りになつても、用事が有ることを「今日用。お歳を召しても行く所が有ることを「今日行く」と言つたらいい。爆笑をした。よくつかせてもらう。今年、80歳になる母がいる、私は母が大好きです。多分死んだら大泣きをする。でも、生きている時にそれを言うのは大変に出来る。自分の事を自分でしてくるだけで感謝なのに、彼女はまた向上心がある。短歌を詠みだした。ころばん教室に行き出した。まだまだへきよういへきようようがあるのだ。近所の方々が心配して温泉にも日帰りで行って行ってくれる。彼女のこれまでの生き方がそうさせるのだらう。戦前生まれは凄いです。私はわざと負荷をかけている、その代わり給料もあげます、当たり前です。お宮の仕事は全て準備してくれている、本当に助かる。卒の神事の時はずっと大変で、心配なのか現場までついて行く（笑）。周りの人は微笑ましくみている。

彼女の一番の気がかりは、私の体、健康の事。よく無理をすると言われます。私は年末に大腸カメラ検査をした。胃の方は、先にカメラ検査をして大事がない事が確認できていた。2リットルの洗浄水を飲むのに少し苦労をしたが、検査は思ったほどのきつさはなく寝ている間に終わっていた。「矢野さん、安定剤を入れますよ」だけ覚えていた。結果は、全く正常、ポリプひとつない。綺麗ですね。あまりストレスも感じないのでしょね。笑いが良いですね。「応答して頂いていると思うことにした。帰って母に報告したら、お喜び安心しきつたようだ。一晩中祈っていたと言。妻にも言ったら、ひとこと「内臓はきれいでも、外観がきたない」これまた妻の名言。

その妻も、倅が扁桃腺で寝込んだら、彼のアルバイトでつきまわりの看病、息子への愛情は間違いなく伝承されている。

話し方教室



大分合同新聞主催の話し方教室を始めてもう2年半になります。現在は6期で9名の方が楽しく学んでおられます。開講当初は、「話し方を教えること」が私にとって初めての試みでしたので、どういう展開になるかまったく見当もつきませんでしたし、募集しても生徒が来てくれないんじゃないかと思ったりもしたのですが、今では在校生・卒業生合わせて50名にもなりました。みなさんよくイヤにならずについて来てくれました(笑)

しかも、半年10回の話し方教室を卒業してからのの方が充実した活動になっているというのがすごいところですよ。

1年半前に卒業生の会「笑わせたいわ笑学校」を立ち上げ、年3回の発表会や外部講師を招聘しての講演会、趣向をこらした忘年会など、準備から司会、反省会に至るまで、卒業生の会が中心となってやってくれています。本当に感謝です!

去年は、4月7日にNHKホールで私のCD録音を兼ねた第4回発表会を1日3回やりましたし、6月21日には能楽堂での第5回発表会を行い、10月5日には高田公民館に私の師である社会教育学者三浦清一郎先生をお招きして4時間の講座をやっていたら大好評を得ました。11月30日には第6回発表会を兼ねた忘年会をして、みんなの感動や喜びを分かち合って1年を締めくくりました。

どうしてこんなにみんな仲良くなれるんだらう? どうしてこんなに感動す



能楽堂楽屋にて



三浦清一郎先生

るんだらう? まるで、学生時代の文化祭みたいですよ。この会の中で楽しそうにイキイキ活動している生徒たちを見ていると、不思議に思います。でも生徒だけでなく、私自身がこの会から大きなエネルギーをもらっているのも確かです。生徒の一人が、「わいがや音頭」という笑わせたいわ笑学校の歌まで作ってくれました。今ではブレーキをかけないと、生徒たちがのめり込んでしまうので、「みんな命はかけんないけんなく」と言うのが私の口ぐせになっています。長続きをさせるためには、みんなが無理をしないのが一番です。

私なりに考えてみると、やはりそれは話し方教室での体験が原点になっているのではないかと思います。話し方教室では、「謙虚にしゃべる」ということを学ぶために、失敗談や自分が抱えている悩みを話します。本人は大真面目で辛いことを話すのですが、私がつつこみを入れて笑わせたり、良い所



NHK キャンパスにて

をみんな褒めまくるので、恥ずかしい体験や辛くて悲しい体験が「笑いのネタ」になって何でも笑い飛ばせるようになるのです。本当に「笑い」の力は大きいのです。笑うと自然に心が開きますし、褒められたことによって自信も出てきます。そして、教室の他のメンバーとは絆が深まって、何でも話せる「かけがえのない仲間」になって行きます。まさに、みんなが「笑って元気」になる構図がそこにあるのです。

おかげさまで今年は、3月に大分県国東市、5月に福岡県粕屋郡で開催される生涯学習実践交流会で「笑いが無縁社会を変える!」というテーマで、卒業生の会の活動を事例発表させていただくことになっておりますし、3月16日には大分出身の落語家である三遊亭歌奴師匠をお招きしての勉強会も予定されていますので、昨年以上に活動の幅が広がっていくと思われれます。この活動を通してみんなが元気になれば、私としては本当に嬉しい限りです。